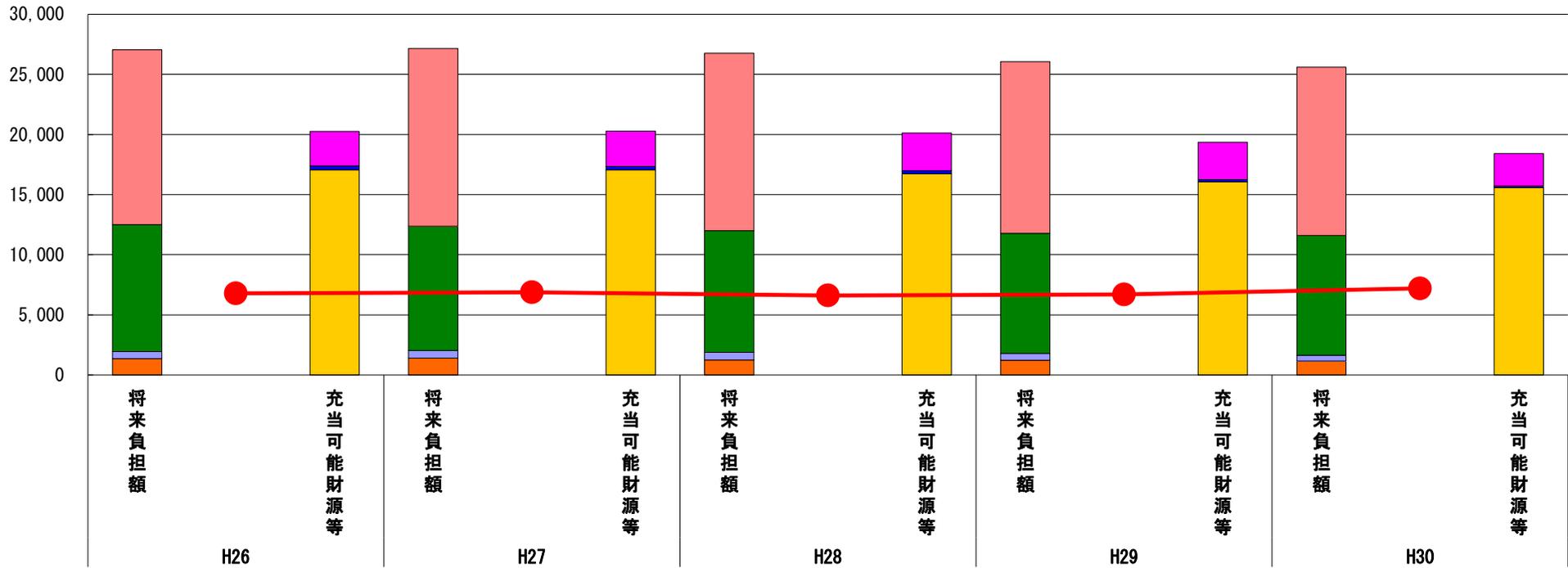


(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

平成30年度

京都府京丹波町

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H26	H27	H28	H29	H30
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		14,520	14,784	14,748	14,264	14,000
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		10,556	10,328	10,102	9,992	9,958
	組合等負担等見込額		606	636	643	555	477
	退職手当負担見込額		1,352	1,401	1,254	1,240	1,167
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		2,865	2,934	3,142	3,115	2,683
	充当可能特定歳入		331	284	249	177	140
	基準財政需要額算入見込額		17,053	17,054	16,735	16,068	15,583
(A) - (B)	将来負担比率の分子		6,786	6,876	6,622	6,693	7,195

分析欄

将来負担額のうち一般会計等に係る地方債現在高は、近年の大型事業の影響により増加傾向となっていたが、平成29年度に繰上償還を実施したことにより減少となった。
 次年度以後においては新庁舎や認定こども園の整備等により地方債現在高は再び増加することが見込まれることから、令和元年度（平成31年度）には約5億円の繰上償還を実施したところである。
 また、将来負担額から差し引かれる充当可能基金は、災害復旧のために財政調整基金の取崩しを行ったことから、対前年度432百万円の減少となった。
 引き続き、将来世代に過度な負担の先送りがないように財政運営に取り組む。

※平成31年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。